



5・24
(火)

5月24日(火)、7校時南島原市で男女共同参画推進活動をしている山本健一郎さんから男女共同参画社会について、福祉保健部で保健師の西田真実さんからは認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて講話をしていただきました。

・ 地域における男女共同参画

・ 認知症になっても暮らせるまちづくり



2年間の探究活動で認知症予防のための脳トレカードを作成した生徒4名

生徒の感想～抜粋～

高校生としての取組み案

(GL科2年認知症研究グループより)

- 地域の方との定期的交流 (観察と確認)
- 地域の相談窓口の把握 (有事の対応)
- 介護経験者の声を聞く (ストレス軽減)
- 認知症カフェを開く (空き家・施設利用)
- 広報誌に「脳トレ」記事を掲載 など。

学生と高齢者が出会う機会が少なく、加齢とともに増える病気のリスクやその病気について知られていないことが課題だと思った。そのために交流の機会を作ったり、認知症などの病気について学べる機会が必要だと思った。

アンコンシャスバイアス (根拠のない思い込み) で、男性や女性に対する差別や偏見がなくなりたいのだと思った。他にもたくさんの思い込みがあって、勝手に決めつけてしまうのはダメだと思った。



講演を聞き、生活していく中で、自分が無意識に思い込んでいるものなど自分の持っている偏見などを改めて考え、改善できる機会となった。知らないところで他人を不快にさせてしまうことのないように、マイクロアグレッションを改善し、日常生活から自分の考えを客観視できるスキルを身に付けていきたいと思った。

自分を保護する意見や自分中心的な意見を出す人がいると、視野が広まらず、偏った見方をしてしまうので、改善していかなければならないと思いました。男女が共に社会で生きていくうえで、役割分担をするときにきちんと根拠を説明できるようにしていきたいと思います。

今日の講演では、福祉科で学習した内容がたくさんありました。今後、実習などでいろんな人と接していくなかで、認知症についての理解を深めていきたいと思いました。

次回は、

5・31
(火)

・ 地域の環境美化

・ 世界遺産「原城跡」の観光資源としての活用